

但馬の未来をデザインする

TAJIMA DESIGN

Tajima Design

日高町江原地区

特集

但馬に新たな劇場「江原河畔劇場」が誕生 文化交流が身近になるまち

文化芸術によるまちづくりを進める豊岡市。今年9月に『豊岡演劇祭2020』が開催され、その中心地となった日高町江原地区には新しい小劇場も誕生した。今回はそのような文化芸術が身近になってきているまち、江原にスポットを当てた。

交流のまち江原

円山川中流域の左岸に位置する江原地区。昭和30年頃、神戸製鋼やグンゼ・製材業・ゴム製品などの工場が林立し、全国から働き手が集まる産業で成り立ってきたまちだ。冬になると駅前通りは神鍋高原行きのバスを待つスキー客であふれ、観光の面でも大きな賑わいを見せていた。

「もともと江原は商人たちが集まる交流のまちでした。最盛期には映画館や芝居小屋などもあり、餅をまけば500人は集まるような活気があったんですよ」と当時を振り返るのは、駅周辺で文具店を営む森田一成さん。日高町商店会理事も務めており、時代とともに変化するまちを見てきた1人だ。

昭和50年を過ぎると、駅周辺のさらなる発展を目指して、「サンロード商店街」や商業施設を作った地域の活性化が続けてきた。しかし、平成に入ってから国道312号が駅の西側に整備され、交通量が移ったことにより、閉店が相次ぎ、今ではシャッターが閉まっている店も多い。

円山川沿いに新スポット「江原河畔劇場」オープン

そんなまちに今年、劇作家・演出家の平田オリザ氏が主催する劇団「青年団」の本拠地として「江原河畔劇場」がオープン。昭和10年に建てられた木造3階建ての旧豊岡市商工会館を改築しており、趣あるモダンな外観は残しつつ、1階には120席ほどの小劇場、2階には稽古やワークショップなどができるスタジオに生まれ変わった。

演劇を見たことがないという地域住民が多い中、地域の理解を深めるため、劇場ができる前にオリザ氏を迎えて地元住民との意見交換会などを開いた。馴染みのない文化の参

かつての駅周辺の様子。土曜夜市なども行われ、たくさんの人で賑わった。



先行ご予約受付開始 11.1 ~

STOLLEN

蔵出しシュトーレン〜生野銀山〜

販売START 11.20 数量限定

美味しさを最大限に引き出すために、年間を通じて温度と湿度の変化が少なく「天然の熟成庫」と言われる生野銀山の坑道内で約3ヶ月間じっくり熟成させた逸品です。 1本 ¥4,500 (税込)



PÂTISSERIE CAFE
KATASHIMA

■カタシマ各店およびカタシマオンラインショップにてご購入いただけます。





(写真上)
青年団「ヤルタ会談」
(写真下)
青年団
『眠れない夜なんてない』
©igaki photo studio



(右ドアなど、劇場の一部には商工会館時代の名残が見られる部分も。
(左)劇場の2階からは穏やかに流れる円山川が一望できる。この景色を眺めながら創作活動ができるのも、いいところでは。



日高町商工会 森田 一成さん

入に対しては、演劇で人が集まるのか、そんなことより教育など他に力を入れることがあるんじゃないか、という否定的な声も少なくなかった。

「オリザさんは、地域貢献が第一の目的ではない。世界で勝負できる最高峰の作品を作ることが、僕たちができる最大限の地域貢献だ」とおっしゃっており、それをどう活用するかは住民である私たち次第です」と森田さんは話す。

今年4月末にグランドオープンを予定していたが、新型コロナウイルスの影響でやむなく延期。しばらく動き出せない状況が続く中、子どもや親子層の居場所を作ってほしい、という地域からの要望が多くあがった。そこで、休校などで外出自粛を余儀なくされた子どもたちに元気を取り戻してもらおうと市が企画して8月に子ども向け公演を実施。「もつと早く演劇にふれておけばよかった」と感動の涙を流す地元住民もいた。



資産運用

保険

年金

各種ローン

お気軽にご相談ください

但馬銀行
TAJIMA BANK

写真提供：吉田利栄



(写真1) ナイトマーケットの様子。(写真2・3・4) フリンジの場所は、移住した演劇祭スタッフが半年かけて探して各団体とのマッチングを行った。撮影協力：日高神鍋観光協会

「いろいろな年齢層の方に楽しんでいただけるようなプログラムを組んで、年間通して質を保ってやっていくのが劇場としての役割。日常生活の中で当たり前前に文化体験ができる場所にしたいと思っています。公演期間中に近所の子どもたちが、ふらつときて劇を見て帰っていったことがありました。遊ぶ場所の選択肢の1つになる様な、まさにこういうことがしたいんだと強く思いました。劇団の人がなんかやっているなというのではなくて、自分たちの居場所だと思ってもらえるとうれしいです」。

そう話すのは、青年団の一員であり、豊岡演劇祭2020のプロデューサーも務めた河村竜也さん。長年閑東で活動しており、地域おこし協力隊として、昨年の秋に家族で江原に越してきた。隣の人に畑を借りて農業をしたり、逆に演劇を観に来てもらったり地域住民との交流も楽しんで暮らしている。

移住する際、江原について調べてみると、但馬国の時代に国府※があり人の出入りの多いまちだったということがわかった。歴史的背景があり、もともとルートがある場所で、演劇を通してもう一度人や文化の交流が盛んなまちを作っていきたいという思いが芽生えたという。

9月9日から2週間にわたって市内各所で行われた豊岡演劇祭。劇団による招待作品の他、周辺で自発的に行われる「フリンジ」型の公演やオンライン公演もあり、多様な形式での開催となった。

まずは演劇を見たことがない地元の人に一度劇場へ足を運んで体験してほしいという思いがあり、但馬内でチケットの先行販売を行った。

演劇やダンスのほか、大道芸、ワークショップ、フィールドワークなど多様な団体を受け入れたことは同演劇祭の特徴の1つだ。65団体からの応募があり、23団体が但馬の自然を舞台にフリンジを行った。

フリンジを多くした理由の1つに、中期的に滞在する機会を作って移住に繋がるような期待も込めたという。

多様な形式で開催された 豊岡演劇祭2020



豊岡演劇祭2020 プロデューサー
河村 竜也さん

※国府とは、国ごとに置かれた地方行政のこと。

蟹 そうだ 食べよう。

9/1 香住ガニ漁解禁 11/6 松葉ガニ漁解禁

ハマダセイの、かに商品は下記にてお求めいただけます。

■ ネットショップ

かに物語
KANI-MONOGATARI

かに物語 ハマダセイ

URL: <https://kani-monogatari.shop/>

■ 直営店

かに物語
KANI-MONOGATARI

兵庫県美作郡香美町
香住区境 1111-10
(香住東漁港入口)

TEL/FAX: 0796-36-4626

その他、蟹みそ商品など、道の駅・お土産物店・駅売店などでも販売しております。

美味発信 **ハマダセイ** 兵庫県美作郡香美町
香住区境 1124
TEL: 0796-36-0668 FAX: 0796-36-2587
公式 HP: <http://www.hamadasei.co.jp/>

河村さんも移住前は、城崎アートセンターに何度か滞在し創作活動を行っていた。もしも移住するなら1番先に豊岡市が候補地にあがるくらい、まちに魅力は感じていたと話す。

実際に各団体関係者は神鍋高原の宿に2週間滞在した。宿の人たちとは家族のような関係性を築き、演劇祭後でもSNSを通じて連絡を取りあつて、帰郷した後でも交流が続いている団体もあるという。

駅前に集まる笑顔の広場 ナイトマーケット

演劇祭の期間中、土日祝の夕方から駅前イベント広場で但馬の食を楽しむ「ナイトマーケット」も開催。お酒は出さず、机を排除して席は対面にならないようコロナ感染対策もしっかり行つて実施した。

「江原駅前を変えたい」という地域の方の声もあり、駅前に人が集まるきっかけづくりになれば。コロナがなければ、地元のとれたて野菜を販売する朝マルシェや但馬の地酒PRなど、シェアすることがもつとしたかったですが、やりたかったことの5分の1もできていません」と河村さん。今後、も状況に応じた対策を行い、日々の生活の中で少しでも気晴らしになるような仕掛けもしていく予定だ。

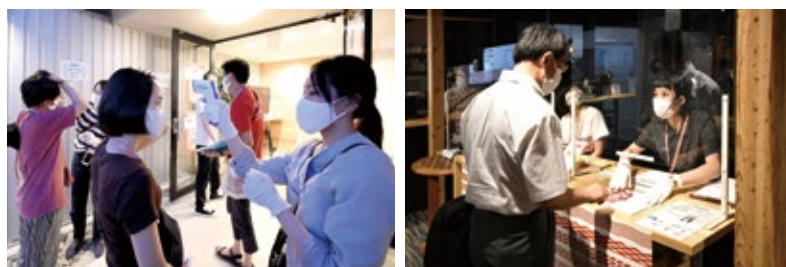
2021年4月に開学予定の「国際観光芸術大学（仮称・認可申請中）」で、教員として働く予定の河村さん。「何をするにも東京に一極集中し過ぎている風潮に風穴をあけたい。ここではないことで世界と勝負していくほうがよほど未来がある気がします。大学では卒業後に新しいイノベーションがうまれるような学びの場を作っていきたいと思っています」と今後の野望を語ってくれた。

交流のまちとしての未来

日本を代表する劇団の移転、新たな劇場の誕生、そして世界に向けた演劇祭の開催とますます文化芸術のまちとして変貌する江原地区。

「今回の演劇祭が昔のような交流のまちとして、人と人の繋がりが起きるきっかけになれば。誰かのために動いてそれが喜ばれるつてのは、人間の根本だと思えます。お客さんが喜んでくれるだけで十分。個々の店だけで完結するのではなく、皆で協力してもっと広がりのあるまちにしたい」と今後を語る森田さん。

かつて様々な産業でたくさんの方が集まって成り立ってきたまちは、時を経て「文化芸術」という新たなジャンルでさらなる交流のまちの姿を見せてくれるだろう。



演劇祭は、東京や大阪から参加する出演者らには事前にPCR検査を義務付けたり、観客の手指消毒や検温などを徹底しコロナ感染症対策を行い実施した。

人や文化が行き交った 歴史あるまち・江原。 文化芸術の力で リバイバルを目指す！

芸術文化と観光分野の2つの視点を生かし、世界につながる新たな価値を創造できる人材を育成を目指す。国公立では初となる演劇を本格的に学び、実社会を生き抜くコミュニケーション力を修得できる大学は来年4月に開校予定。
※豊岡市山王町



Tajima Design

『探す』をなくして
『会話』で見つける。

Edia

AI chatbot

CAMEL

愛知県、福岡県、奈良県、愛媛県、姫路市ほか 70 自治体で採用！（2020年10月末現在／当社調べ）

株式会社キャメル

検索